



支部だより

東北支部

令和5年度秋田地区講演会ならびに 第55回ケミカルエンジニアリング交流会

はじめに

雪の舞い散る中、2023年12月1日(金)の午後から「令和5年度秋田地区講演会ならびに第55回ケミカルエンジニアリング交流会」が秋田県総合保険センターで対面で開催されました。この講演会は日本化学会東北支部が主催し、秋田化学工学懇話会および秋田化学技術協会との共催で行われました。県内の企業だけでなく、秋田県庁、大学・高専の教職員、大学院生、学部生など多岐にわたる参加者が集まり、非常に盛況なイベントとなりました。

本講演会について

本講演会の開催に伴い、秋田化学工学懇話会の会長である工藤正昭氏よりご挨拶をいただきました。続いて、産官でご活躍されている4名の講師をお迎えし、ご講演をいただきました。

最初のご講演は、国立研究開発法人産業技術総合研究所の成田弘一氏にお話し



秋田化学工学懇話会の会長の工藤正昭氏による開会の挨拶の様子



ご講演中の成田弘一氏(国立研究開発法人産業技術総合研究所)

いただきました。成田氏がチーム長を務められているゼロエミッション国際共同研究センター資源循環技術研究チームの紹介から始まり、レアメタルの世界的な動向や国策などの現状についてお話いただきました。また、レアメタルの分離精製に関する課題や、これまでに取り組まれてきたレアメタルの回収剤の開発に関する研究についてもご紹介いただきました。

次のご講演は、株式会社リガク X線機器事業部 応用技術センター粉末・薄膜解析グループグループマネージャーの長尾圭吾氏にお願いしました。X線回折の基礎から、最新のX線回折装置を用いた微小部分分析をはじめ、微量分析を利用した結晶構造解析や鉱石や薄膜、鉄鋼や電池材料の微量成分の検出など、実践に向けた様々な測定例をご紹介いただきました。

続いて、日本新金属株式会社秋田工場取締役 秋田工場長の久永昌広氏にご講演をいただきました。タングステンの利用用途をはじめ、リサイクル資源からのタングステンの回収方法などを解説いただきました。また、自社で取り組まれている資源循環型社会に貢献するタングステンのリサイクル事業に関する技術もご紹介いただきました。

最後に、ニプロファーマ株式会社大館工場管理部長の田中良夫氏にニプロファーマ大館工場の概要についてご紹介いただきました。大館工場で取り扱っている製品の紹介をはじめ、工場内での品質管理の取り組みについてもご講演いただきました。

おわりに

本講演会では、レアメタルの分離精製に関する最先端の研究をはじめ、X線回折を利用した最新の解析法やリサイクル、品質管理など、多くのことを学ぶことができた大変有意義な会となりました。

本講演会の開催に際し、多くの方々からお力添えを頂戴しました。この誌面をお借りして感謝を申し上げます。

(山田 学(秋田大学大学院理工学研究科))

© 2024 The Chemical Society of Japan